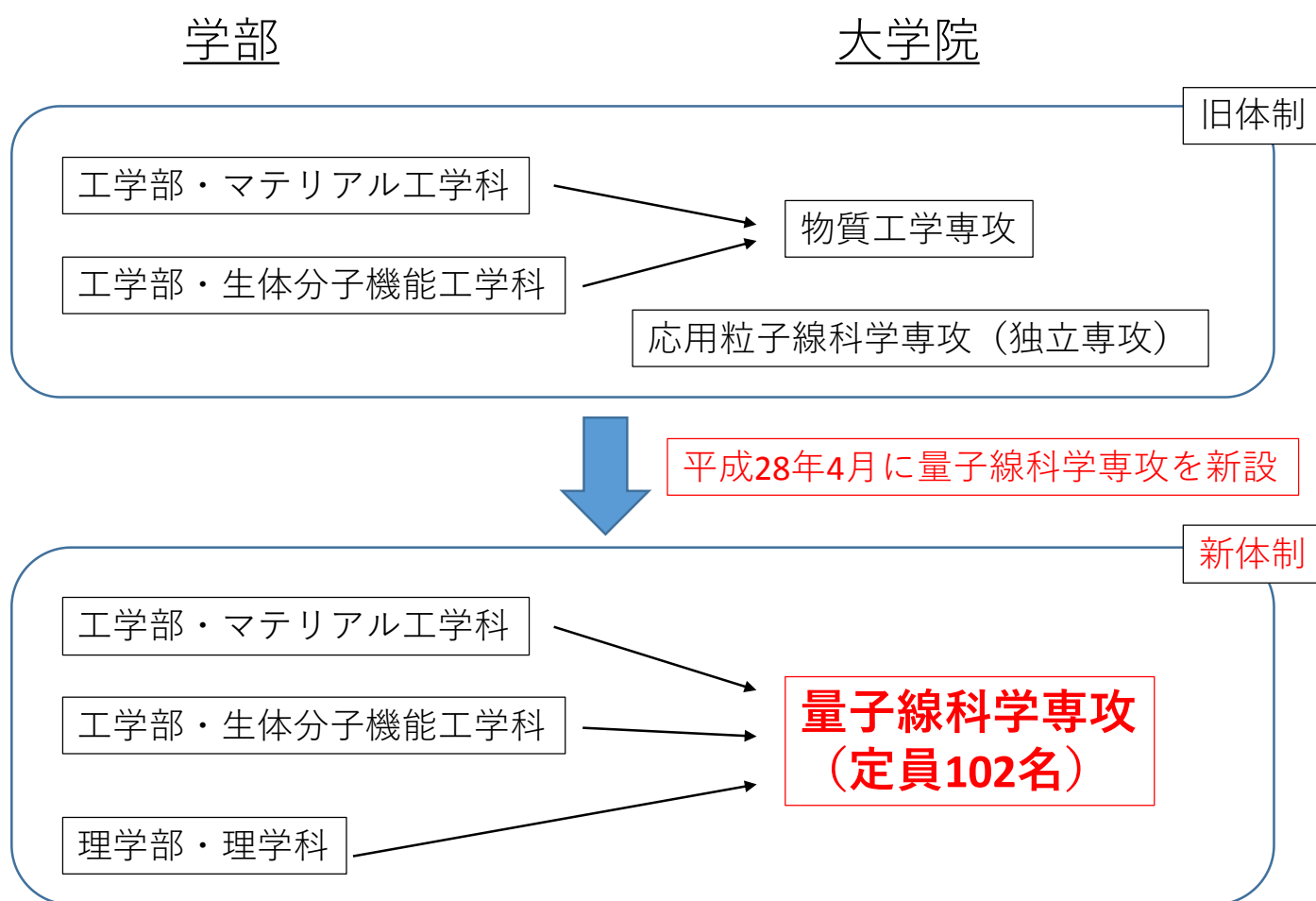


採用担当者の皆様

拝啓 時下ますますご発展のこととお喜び申し上げます。平素より本学・学生の就職活動におきまして、格別のご支援を賜り心よりお礼申し上げます。突然で恐縮ですが、平成28年4月に茨城大学大学院理工学研究科の中で改組があり、量子線科学専攻が新設されましたので、求人のお願いでご連絡させていただきました。量子線科学専攻はこれまで設置されていた応用粒子線科学専攻(博士前期課程25名, 博士後期課程9名)を前期課程102名, 後期課程20名と大幅に拡張・強化いたしました。

下図におきまして旧組織と新組織の詳細を説明させていただきます。旧組織では、工学部・マテリアル工学科と工学部・生体分子機能工学科の学部生は物質工学専攻に進学していました。また、独立専攻として応用粒子線科学専攻が設置されていました。新組織では、物質工学専攻、応用粒子線科学専攻および理学専攻の一部の教員および学生を統合して、新しく量子線科学専攻を設置いたしました。



量子線科学専攻の新設に伴いまして、物質科学専攻と応用粒子線科学専攻は本年度博士前期課程2年生が最後の修了生となります。本年度まで物質科学専攻と応用粒子線科学専攻に求人をいただいた企業様におきましては、次年度では量子線科学専攻に求人をいただければ幸いです。

量子線科学専攻では、環境放射線科学コース、物質量子科学コース、化学・生命コース、ビームライン科学コースの4つのコースがあります。これらの4つのコースでは以下のような教育を行います。

- ・環境放射線科学コースでは放射線リスクコミュニケーションにも対応でき、環境レベル・低線量放射線の測定と生体影響・がんリスクに関する専門知識を持たせます。

- ・物質量子科学コースでは物理学、材料科学に関する専門分野の知識と技能を備えるとともに、中性子線をは

はじめとする量子線を研究・開発のための道具として活用・駆使できる専門知識を持たせます。

・化学・生命コースでは化学，生命科学に関する専門分野の知識と技能を備えるとともに，中性子線をはじめとする量子線を研究・開発のための道具として活用・駆使できる専門知識を持たせます。

・ビームライン科学コースでは中性子ビームをはじめとする量子ビーム(X線，電子線)の制御・計測と，新しい金属材料・高分子材料の開発やタンパク質の構造解析への応用分野に関する知識を持たせます。

本専攻の教育は，実験・実習を重視しており，本学が位置している地の利を生かして，J-PARC, JAEA, KEK 等の先端研機関との連携を研究だけではなく教育カリキュラムの中に大幅に取り入れ，先端的な分析装置や解析装置の使用経験を持たせている点が特徴です。本専攻で扱う量子線は 中性子線，ミュオン，X線，電子線など幅広く，どのコースを選択しても中性子線を1度は経験したことがある点が特徴です。また，ほぼ全ての専攻所属の大学院生が JAEA で開催されている放射線実習を受講しており，本専攻の大学院生は放射線計測の素養を有している点も，他大学にない特徴となっています。

それにより，本専攻の修了生は生物学，物理学，化学・生命工学，加速器科学それぞれの分野における専門知識のみならず，量子線をツールとして利用できる能力を習得しています。本専攻の教育に対する企業向けの説明会も予定しております。どうか，本専攻のパンフレットやホームページをご覧ください，本専攻の修了生の採用についてご検討いただければ幸いです。

なお，以上の件につきましてのご質問は下記の就職担当教員までお願いいたします。

量子線科学専攻・就職担当

准教授 西野 創一郎

メールアドレス：souichiro.nishino.sn@vc.ibaraki.ac.jp

電話／ファックス：0294-38-5218

住所：茨城県日立市中成沢町 4-12-1

書中にて失礼とは存じますが，今後ともよろしく願い申し上げます。

末筆ながら皆様のますますのご発展をお祈りいたします。

敬具

平成 29 年 1 月